

## 編集後記

早いもので令和2年となりました。来年は3年、再来年は4年。当たり前の話ですが、平成の初めもそんなことを思っていたら、あっという間に30年が過ぎてしまいました。まさに光陰矢の如しですね。

ところで、今年是我们楊名時太極拳を愛好する者にとっては特別な年です。師家が本格的に楊名時太極拳の指導・普及を始めてから60年となる年だからです。60年——ついに還暦を迎えたというわけです。この節目の年を祝して、協会では周年記念事業も計画しています。今から楽しみです。

いっぽう世間一般からすると、今年は何と言っても二度目の東京オリンピックの年として歴史に記憶をとどめることになるのでしょう。

開催がだんだん近づいていく中、いろいろと問題も生じているようですが、とはいえ今年の夏は、やはり世の中はオリンピック一色で賑わいそうです。きっとテレビはどのチャンネルを回しても、オリンピック、オリンピックと喧しいことでしょう。

オリンピックといえば誰もが思い浮かぶのが、五輪のマーク。この5つの輪は五大大陸を象徴しているとのこと。ただし、どの色がどの大陸を示すかは決められていないそうです。

そもそも五大大陸の数え方自体諸説あるので当てはめようがありませんし、どの色をどの大陸に当てても、どこかしらからクレームが来そうですね。

この「5」という数字は、私たち楊名時太極拳愛好者にとっても縁のある数字です。五則の5(心息動、同心協力、和而榮、博愛、健康友好平和)、基本五ヶ条の5(平目平視、三尖相照、上下相随、中正円転、分清虚実)、そういえば師家の故郷も五台山……。



また太極拳に限らず、五の付く言葉は多いですね。中国の五行思想、宮本武蔵の五輪書、五体、五感、五臓、五徳、五線譜、五段階評価、五目並べ、五重塔、五人囃子、五色沼、フィンガー5(懐かしいなあ)…… 数え上げればきりがありません。

どうも人間は、この「5」というものを一つのまとまった単位としたがる習性があるようです。

一体なぜなのだろう。そのことがモヤモヤと気になっていたのですが、先日、本来無念無想で行うべきところですが、24式套路演舞の最中、雲手を舞っている時に、私自身の体が教えてくれました。

そうか、なるほどね。

賢明な皆様には言わずもがなだと思います。言葉にしては野暮なので、その時私の目に映った光景を写真で再現するにとどめておきましょう。

今年も皆様、どうか心をおおらかにして、楽しく元気に太極拳をやっていきましょう。Let's go!

(結城 記)

投稿先は以下の通りです。

- メール k.hiroko@aurora.ocn.ne.jp
- 郵送 〒252-0222 相模原市中央区由野台2-7-3
- FAX 042 - 758 - 9838

※宛名はすべて「『浜太極』編集部」でお願いします。